

計画の背景、将来像、基本方針、目標

計画の背景

自転車は、最も手軽で、利便性が高く、経済的な移動手段として、子どもから高齢者まで幅広い世代において、通学、通勤、買物など様々な目的で日常生活に利用されている。また、サイクリングにおける風を切って走る爽快感や、きれいな景色をゆっくり眺めながら走行する楽しさ等が非日常のレジャーとして浸透しつつある。

本県では、これまで自転車利用の安全性向上を目指し、市町と連携して自転車ネットワーク計画に基づく通行空間の整備や交通安全施設等の整備による安全対策に加え、平成27年4月1日から「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を施行し、自転車の安全適正利用について、県民、事業者、市町及び県が一体となって県民運動として取り組んでいるところである。また、県内各地では、地域の魅力や地形を活かした「淡路島ロングライド150(アワイチ)」や「山陰海岸ジオパークコウノトリチャレンジライドin但馬」等のサイクリングイベントも開催されており人気を博している。

このような中、国は、環境負荷の低減、災害時の交通機能の維持、国民の健康増進などの課題に対応するために、自転車の活用を推進する「自転車活用推進法」を施行するとともに、同法に基づき「自転車活用推進計画」が閣議決定され、自転車活用の機運が高まってきた。

こうした流れを的確に捉え、本県では、更なる自転車の利用環境の整備や自転車利用者のマナー向上等を図ることにより、自転車の安全性に加え迅速性や快適性を県民に再認識してもらい日常生活において自転車の活用を浸透させるとともに、魅力的なサイクリングルートの創設による、サイクルツーリズムの推進やサイクリングによる健康増進等を総合的かつ計画的に推進するため「兵庫県自転車活用推進計画」を策定する。

計画の将来像、基本方針、目標

自転車に関する課題

【課題】

- ・自転車通行空間整備率が低い
- ・放置自転車台数は減少傾向であるが依然として多い
- ・自転車事故死傷者の違反率が増加傾向
- ・県内への観光客は増加しているものの、宿泊客は近隣府県に比べて少ない
- ・健康寿命が全国平均より短い

上位計画の方針

【兵庫2030年の展望】

■ 目指す姿

「すこやか兵庫」の実現
～五国を活かし 日本を先導 世界につなぐ～

■ 基本方針

「未来の活力」の創出
「暮らしの質」の追求
「ダイナミックな交流・環流」の拡大

【自転車活用推進法】

■ 基本理念

- ・自転車が、環境に深刻な影響を及ぼす物質及び騒音・振動を発生しないという特性並びに災害時において機動的であるという等の特性を有すること
- ・自動車への依存度を低減することが、国民の健康増進及び交通混雑緩和による経済的社会的効果を及ぼすこと
- ・交通体系における自転車の役割を拡大すること
- ・交通の安全の確保が図られること

将来像 「自転車文化※が花開く『すこやか兵庫』」

基本方針 安全で快適に通行できる環境の整備や交通ルール遵守の徹底など、自転車を利用するうえでの基盤となる取組みを推進し、その基盤を活用して、交流人口拡大や健康増進に向けた取組みの積極的な展開を図る。

※自転車文化：自転車の特性を理解したうえで、日常生活からスポーツ・レジャーまで、あらゆるライフスタイルにおいて自転車が活用されている状況

計画の目標

まちづくり

自転車にやさしいまちづくり

安全・安心

自転車の適正利用と通行空間の安全確保による安全な自転車活用

観光

五国の多彩な資源(魅力)を活かしたサイクルツーリズムの推進による地域活力の向上

健康

自転車利用の促進による健康で活力ある社会づくり